

2016

原著論文

1. Inoue T, Murakami N, Ayabe T, Oto Y, Nishino I, Goto Y, Koga Y, Sakuta R: Pyruvate improved insulin secretion status in a mitochondrial diabetes mellitus patient. The Journal of Clinical Endocrinology & Metabolism. 2016 May;101(5):1924-6. doi: 10.1210/jc.2015-4293. Epub 2016 Feb 17.
2. Seike K, Hanazawa H, Ohtani T, Takamiya S, Sakuta R, Nakazato M: A Questionnaire Survey of the Type of Support Required by Yogo Teachers to Effectively Manage Students Suspected of Having an Eating Disorder. BioPsychoSocial Medicine. DOI: 10.1186/s13030-016-0065-5. 2016.
3. Seike K, Nakazato M, Hanazawa H, Ohtani T, Niitsu T, Ishikawa SI, Ayabe A, Otani R, Kawabe K, Horiuchi F, Takamiya S, Sakuta R: A questionnaire survey regarding the support needed by Yogo teachers to take care of students suspected of having eating disorders (second report). BioPsychoSocial Medicine. Sep 29;10:28. DOI: 10.1186/s13030-016-0079-z. 2016.

総説

1. 作田亮一：【ちょっと気になる子どもたち】 ネット依存の強い子ども. 保健の科学 58 (4) : 249-256, 2016
2. 作田亮一：【子どもの摂食障害】子どもの摂食障害の治療. 教育と医学 64 (3) : 195-205, 2016
3. 作田亮一：【小児科医が担う思春期医療】 社会的問題 思春期にみられる触法行動. 小児内科 48 (3) : 390-396, 2016
4. 作田亮一：【発達障害-医療・支援のマネジメント】 小児科医ができる治療、療育、連携のマネジメント 成人 小児期より関わった事例が成人になった場合の小児科医のかかわり. 小児内科 48 (5) : 750-756, 2016
5. 市川寛子, 仲渡江美, 島村圭一, 金沢創, 山口真美, 作田亮一, 柿木隆介: 【スパースモデリングの発展-原理から応用まで-】 医療科学分野への応用 発達障害研究への応用 -スパースモデリングによる NIRS を用いた脳活動計測におけるチャンネル選択. 電子情報通信学会誌 99 (5) : 428-433, 2016

著書

1. Bryan Lask, Lucy Warson(著), 作田亮一(監修), 上田勢子(訳): 食べるのがこわい. わかって私のハンディキャップ③摂食しょうがい. 大月書店. 2016.
2. 作田亮一: 注意欠如/多動性障害. 小児科診療ガイドライン第3版. 五十嵐隆編,

学会特別講演

1. 作田亮一： 発達が気になる子への関わり方のコツ～正しい理解をふまえて～. 足立区医師会小児科医会学術講演会, 7.23.2016, 東京
2. 作田亮一： 見逃してはならない器質的疾患. 日本小児科医会主催第4回「子どもの心」研修会教育講演, 9.25.2016, 東京

学会発表

1. 板橋尚, 荒川明里, 井上建, 大谷良子, 島村圭一, 村上信行, 松原知代, 作田亮一： 抗 HMGCR 抗体陽性筋症の小児例. 第 29 回埼玉小児神経懇話会, さいたま, 2.27.2016
2. 荒川明里, 井上建, 白石昌久, 村上信行, 作田亮一, 松原知代： Microcephaly with simplified gyral pattern (MSG) に Fallot 四徴症 (TOF) を合併した症例. 第 21 回小児神経症例検討会, 山形, 2.27.2016
3. 荒川明里, 永井爽, 井上建, 板橋尚, 村上信行, 松原知代, 作田亮一： 頭頂葉皮質に局限する急性脳症を発症したした Henoch-Shönlein 紫斑病(HSP)の症例. 第 64 回日本小児神経学会関東地方会, 東京, 3.5.2016.
4. 荒川明里, 井上建, 大谷良子, 作田亮一： 睡眠相後退症候群・不登校児に対する短期入院療法の試み. 第 7 回日本小児心身医学会関東甲信越地方会, 前橋, 3.13.2016
5. Mitsui T, Yoshida T, Ikuno T, Takamiya S, Sakuta R, Usami M, Tachimori H, Komaki G :The factor structure of the Japanese version of EDE-Q in non-clinical and clinical samples. 2016Academy for Eating Disorders(AED). San Francisco, USA, 5.5-7.2016
6. 大戸佑二, 永井爽, 井上建, 板橋尚, 綾部匡之, 白石昌久, 作田亮一, 村上信行, 永井敏郎, 松原知代： プラダー・ウィリー症候群におけるスキンプッキングについての検討. 第 119 回日本小児科学会学術集会, 札幌, 5.15.2016
7. 永井爽, 鈴木亮子, 荒川明里, 井上建, 小野裕子, 大戸佑二, 板橋尚, 島村圭一, 白石昌久, 村上信行, 大谷良子, 作田亮一, 松原知代： 経口ステロイド薬で改善した新生児特発性乳糜胸の 2 例. 第 137 回埼玉県小児科医会・第 164 回日本小児科学会埼玉地方会. さいたま, 5.22.2016
8. 板橋尚, 井上建, 大谷良子, 村上信行, 作田亮一, 西野一三： 抗 HMGCR 抗体陽性筋症の小児例. 第 58 回小児神経学会学術集会. 東京. 6.3.2016
9. 大谷良子, 金谷梨恵, 荒川明里, 井上建, 島村圭一, 田副真美, 作田亮一： 神経性やせ症患児における WISC-IV 認知プロフィールの特徴. 第 58 回小児神経学会学術集会. 東京. 6.4.2016 (若手優秀ポスター賞受賞)
10. 荒川明里, 井上建, 大谷良子, 松原知代, 作田亮一:子どものこころ診療外来での子どもの強さと困難さアンケート (Strengths and Difficulties Questionnaire : SDQ) 質問紙

結果の評価. 第 26 回日本外来小児科学会年次集会. 高松. 8.27.2016

11. 綾部敦子, 大谷良子, 作田亮一, 中里道子, 高宮静男: 埼玉県養護教諭に対する「小児摂食障害の早期発見・早期支援に関するアンケート調査」の報告. 第 20 回摂食障害学会・学術集会. 東京. 9.3.2016
12. 大谷良子, 綾部敦子, 作田亮一, 高宮静男, 中里道子: 小児科医に対する「摂食障害医療体制・連携」に関する質問紙調査の報告 (埼玉・兵庫・千葉). 第 20 回摂食障害学会・学術集会. 東京. 9.3.2016
13. 井上建, 荒川明里, 板橋尚, 大谷良子, 作田亮一: 摂食障害 94 例の検討 - 自閉傾向に関する研究 -. 第 34 回日本小児心身医学会学術集会. 長崎. 9.10.2016
14. 大谷良子, 黒岩千枝, 東美穂, 権知賢, 中込美香, 荒川明里, 井上建, 作田亮一: 背景に発達障害がある摂食障害の治療戦略. 第 34 回日本小児心身医学会学術集会. 長崎. 9.10.2016
15. 田中慎一郎, 大戸佑二, 永井爽, 荒川明里, 井上建, 小野裕子, 板橋尚, 元木京子, 島村圭一, 白石昌久, 村上信行, 大谷良子, 作田亮一, 松原知代: 視床下部過誤腫による思春期早発症の乳児例. 第 138 回埼玉県小児科医会・第 165 回日本小児科学会埼玉地方会. 川越. 9.17.2016
16. 荒川明里, 田中慎一郎, 井上建, 小野裕子, 大戸佑二, 大谷良子, 板橋尚, 元木京子, 島村圭一, 白石昌久, 新田晃久, 村上信行, 作田亮一, 松原知代: 血小板減少性紫斑症で発症したシェーグレン症候群の 1 例. 第 26 回日本小児リウマチ学会総会・学術集会. 千葉. 10.22.2016
17. 大谷良子, 荒川明里, 井上建, 島村圭一, 作田亮一: 小児神経性やせ症における認知能力の検討. 第 44 回獨協医学会. 壬生. 12.3.2016

講演等

1. 作田亮一: メディア依存の身体への影響. 平成 27 年度越谷市立武蔵野中学校学校保健委員会, 1.12.2016, 越谷
2. 作田亮一: 地域福祉活動の現状と課題③～多問題家族入門～. 地域福祉パワーアップカレッジねりま. 1.14.2016, 東京
3. 作田亮一: 発達に気になる子への関わり方のコツ～正しい理解をふまえて～. 狭山保健子どもの心の問題に関する研修会. 1.26.2016, 狭山
4. 作田亮一: 発達障害・被虐待児・摂食障害への対応. 埼玉県子どもの心地域子育て支援事業研修会, 2.7.2016, 越谷
5. 作田亮一: 発達障害児の抱える心のストレスと対応. 五団体スキルアップ研修. 2.27.2016, 気仙沼
6. 作田亮一: 「埼玉県特別支援学校における医療的ケアと特別支援学校教員に必要な医学的知識 (傷害と疾病の理解並びに導尿に係る病理及び支援を含む)」について. 平成 28

年度埼玉県立特別支援学校医療的ケア体制整備事業に係る担当教員（認定特定行為業務従事者）研修会. 8.16.2016, 伊奈

7. 作田亮一：子どものこころの叫びを聞こう：発達障害・不登校を中心に. 平成 28 年度鴻巣市教職員全員研修会. 8.19.2016, 鴻巣
8. 作田亮一：発達障害について（医学的見地から）. 発達支援サポーター育成研修. 8.22.2016, 越谷
9. 作田亮一：子どもの愛着障害について考える～愛着障害の理解と家族支援について～. 草加保健所 子どもの心の問題に関する研修会. 8.25.2016, 草加
10. 作田亮一：心身症としての過敏性腸症候群. 「子どもの心の診療医」養成研修会. 10.23.2016, 東京
11. 大谷良子：発達障害と併存症. 埼玉AD/HD学術講演会, さいたま, 2016.10
12. 作田亮一：発達障害の基礎. 埼玉県集団療育実践者育成研修, 10.30.2016, 越谷
13. 作田亮一：子どもの心身症と対応. さいたま市教育研究会研修大会学校保健部講演会. 11.17.2016, さいたま
14. 作田亮一：発達が気になる子への関わり方のコツ. 平成 28 年度船橋市保育協議会 発達支援児保育研修会. 11.19.船橋
15. 作田亮一：地域福祉活動の現状と課題②～多問題家族入門～. 地域福祉パワーアップカレッジねりま. 12.6.2016, 東京
16. 作田亮一：発達障害・被虐待児・摂食障害への対応. 埼玉県子どもの心地域子育て支援事業研修会, 12.11.2016, 越谷
17. 作田亮一：心の診療・発達障害の基礎: 平成 28 年埼玉県看護協会 発達障害児支援研修. 12.12.2016, さいたま
18. 大谷良子：発達障害の二次的精神症状. 平成 28 年埼玉県看護協会 発達障害児支援研修, 12.12.2016, さいたま
19. 作田亮一：児童虐待・愛着障害. 平成 28 年埼玉県看護協会 発達障害児支援研修. 12.13.2016, さいたま

報道

1. 作田亮一：子どもの素行障害. 特性理解し自尊心を高めて. 朝日新聞埼玉版, 診察室から@埼玉, 2016 年 2 月 16 日掲載
2. 作田亮一：トゥレット障害. 誤解されがち 長期の支援を. 朝日新聞埼玉版, 診察室から@埼玉, 2016 年 4 月 7 日掲載
3. 作田亮一：発達障害医療 診断は周囲の協力得る一歩. 朝日新聞埼玉版, 診察室から@埼玉, 2016 年 6 月 2 日掲載